令和７年 第３回皆野町議会定例会　開会挨拶

おはようございます。開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、令和７年第３回皆野町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位のご出席を賜り、開会できますことを心より御礼申し上げます。日頃より町政推進にご尽力いただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

さて、８月１４日の秩父音頭まつりは、天候にも恵まれ、盛大に開催することができました。タイムスリップ横丁や、みんなで尺玉をあげようプロジェクト、新たな特別賞の創設など、さまざまなチャレンジにより、「町民が楽しむまつり」への確かな一歩になったと感じています。さらに、世界一周大学の皆さんを中心におよそ５０人の若者がスタッフとして参加し、踊りの輪だけでなく、人の輪も広がりました。来年以降も、皆様と共に楽しさを育ててまいりたいと考えております。

また、８月１９日には、秩父地域１市４町で国への要望活動を行いました。今回は、防災庁の誘致と広域水道事業への支援継続・拡充の二点を訴えてまいりました。防災庁につきましては、実質的には地方拠点の誘致ということになろうかと思いますが、秩父地域の強みである強固な地盤、水害や火山噴火による被災リスクの低さ、さらに東京都との同時被災リスクが低く、都心部からのアクセスも良いことから、バックアップ拠点の最適地であることを強く訴えてまいりました。秩父地域の安全・安心の更なる強化と、地域振興につながるものとして、引き続き取り組んでまいります。

また、広域水道については、本年度が国庫補助の計画期間の最終年度にあたります。しかしながら、令和元年の台風被害、コロナ禍

などの後発事業の影響もあり、計画期間を超えた事業実施が必要な現状にあることから、その期間の延長、支援の更なる拡充について要望しました。将来にわたり安全・安心な水が供給できるよう、必要な支援を国、県に継続して要望してまいります。
　なお、今回の要望にあたり、関口昌一参議院議長、小泉龍司衆議院議員から大きなお力添えをいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

　続いて、６月定例会以降の町の取組についてご報告いたします。

　６月には、ＲＩＺＡＰ株式会社と健康増進等に関する包括連携協定を締結いたしました。今後オンラインによる特定保健指導に加え、ウォーキングセミナーの実施も予定しております。

　７月・８月には、地域おこし協力隊が子ども向けのイベントを数多く企画し、積極的に活動してくれました。こどもの居場所づくり担当の沼子隊員は、「こどもの居場所通信」を発行し、協力隊主催のみな FES やお菓子作り教室のほか、公民館とものつくり大学のコラボ講座、さらに民間主催のイベントも含め、幅広い催しを一つに整理して紹介しました。子どもや保護者の皆さんにとって分かりやすく、大変好評をいただきました。

　９月には、西武文理大学とものつくり大学の学生４名を地域おこし協力隊インターンとして委嘱し、㈱デジタルラボみなのが実施するデジタルアート体験の運営に携わっております。すでに小学校の全クラスを対象とした体験授業が始まっており、９月１３日には町民向け体験会を開催します。さらに、１０月２６日の「みんなの皆野ふれあいまつり」においても体験ブースを設ける予定です。こうした活動をきっかけに、楽しみながらデジタルに強い人材を育てる

環境を充実させていきたいと考えております。

　また、うれしい話題をご紹介いたします。国神小学校６年、皆野剣友会の大澤健吾さんが、第２０回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会埼玉県予選会で見事第３位に入賞されました。９月１４日（日）に大阪市で開催される全国大会に、埼玉県チームの先鋒として出場されます。大舞台でのご活躍を心から祈っております。
　本定例会の町長提出議案は、付議事件一覧表のとおり、１５議案でございます。

　なお、認定第１号から第４号までの各会計の決算書及び付属書類につきましては、吉橋富造代表監査委員、常山知子監査委員から、関係法令に準拠して作成され、正確であり、執行も適切なものと認められるとの審査意見をいただいております。

　ご審議を賜り、認定、可決いただきますようお願い申し上げ、挨拶といたします。